

•報告

早いもので、留学生活も残り1ヶ月。帰国に向け準備を始めた。渡米当初は、次に渡米できる時もわからない為に帰国前にアメリカ国内や日本からはなかなか行けない南米などに旅行しようなど考えていた。しかし、日本の友人などの就職活動の状況を聞いているとアメリカでゆっくりは、してられない状況であることがわかった。前年度の就職活動の状況を見ても大学院の学生に対しての就職活動は時期が早まり期間も短くなってきている。アメリカ国内から就職活動をする方法もあるがやはり日本の会社に就職する以上圧倒的にアメリカでは出来る活動が少ない。就職活動の観点からすると大学院の2年次途中に帰国する事となる。結果、就職活動に関してある程度リスクがある事を認識して留学を行わなければならない。私は、ある程度覚悟はしていたが内定をもらった報告や最終面接に行くという友人の話を聞くとやはり危機感を感じずにはいられない。留学で得られるものは日本には得る事が出来ないものが沢山ある。結果的に大学院に入学時の予定通り帰国後にしっかり就職活動を終え今年度の3月に無事卒業できれば、一旦この留学生活も成功と言え終了する事が出来る。この留学を成功にできるかは帰国後の行動で大きく変わってくる。私は現状から、UIUCでの予定が終了したらすぐに帰国し活動を開始する事を選び3月後半からは身の整理を行ってきた。授業の方は相変わらずプロジェクトの活動の一つも無事終了させ、現在最終課題に取り組んでいる。帰国後の活動を考えると大変ではある。しかし、こちらにいる期間は、こちらでやらなければ行けない事に集中して取り組みたいと思う。